

事務局業務委託に関する選定作業の結果について

— 報告 —

総務担当理事（事務局長） 秋元美世（東洋大学）

学会の本部事務局業務の委託作業に関しましては、この間、5月25日の学会の定時総会において承認していただいた手順に沿って選定作業を進めて参りました。この度、選定のための作業が終了いたしましたのでご報告させていただきます。

1. 総会以降の経過

まず総会以降、以下のような日程で作業を進めました。

6月10日（月）～2013年6月30日（日） 募集要項等の公示・配布

6月17日（月） 説明会案内発送

6月22日（土）説明会（参加業者：5社）

7月1日（月）～2013年7月10日（水） 応募（企画提案書等）の受付期間（応募業者：4社）

7月18日（木） 第1段階評価（書類審査）

7月27日（土） 第2段階評価（プレゼンテーション）・評価会議

2. 評価の方法と結果

第1段階評価および第2段階評価については、「募集要項」の「評価・選定方法」にしたがって実施いたしました。

（1）募集要項で規程された「評価・選定方法」について

（第1段階）

提出書類に基づき、書類審査（応募者の経営基盤を中心とした事業者評価および企画評価）を行います。第1段階では、費用（コスト）面については審査対象としません。

（第2段階）

書類審査を通過した応募者に対して、第2段階の審査を行います。第2段階審査では、評価項目に基づき、提出書類及びプロポーザル参加者によるプレゼンテーション内容の評価を行い、競争性・透明性の確保に十分に配慮しながら、企画提案の内容、事業の実施能力及び費用（コスト）等を総合的に評価、採点し、審議のうえ選定します。

（2）評価結果について

（第1段階評価の結果）

応募事業者に対する財務面での検討を公認会計士にお願いし、応募業者各社とも、財務面でとくに指摘すべき問題はないとの報告を受けました。その上で、書類審査を行い第2段階評価でプレゼンテーションをしてもらう業者（3社）を選定しました。

（第2段階評価の結果）

第2段階評価では、会長、副会長、総務・研究・財務の各担当理事、委託問題ワーキンググループ担当理事そして機関誌・広報・倫理・学会賞選定などの各種委員会の担当理事などの先生方をメンバーにして評価委員会を構成し、委員会での審議を経た上で、最終的には各委員による投票によって順位を決定いたしました。審査では、事業の実施体制、企画提案内容について8つの評価項目を設け5段階評価による投票を行った上で、幾つかの重要項目にウエイトをかけて委員ごとの順位を出しました。その結果、全評価委員が「国際文献社」を最も高い点数としたことから、同社を第1順位に選定しました。なお同社については、応募事業者の中では一番大きな事業体であり、一般社団法人を取得している11学会に加えて、公益社団法人となっている4学会の業務委託を受けており、実績的にも安定感が感じられること、社会科学系の学会運営の特質についてよく理解していること、会員への十分な対応を担える人材とその連携があり、業務委託のための移行作業がより円滑に進められるであろうこと、さらに社内に学会による利用を想定した複数の会議室が確保されていることなどが高く評価されました。

3. 今後のすすめ方

評価委員会の結果については、8月10日の理事会で報告され、理事会において第1順位となった国際文献社との業務委託のための契約交渉を行うことが承認されました。今後は、委託作業のための移行準備委員会を評価作業に携わった理事を中心に設置して移行作業を進めていく予定です。9月以降、北星学園大学での大会、さらには11月末の郡山での学会フォーラムに加えて、代議員選挙、役員選挙と重要な学会の事業や業務が続きます。これらの重要な事業・業務に支障が出ないようにスムーズな移行作業を行っていくことに鋭意努めて参る所存です。会員のみなさま方には、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。